



ききょう便り

平成20年 秋号(第15号)



実りの秋に思う

理事 角田 和子

黄金色に波打っていた田も刈り取りがほぼ終わり、新米や果物のおいしい季節になりました。輸入汚染米を食用として流通させていたとして、マスコミで連日報道されていた悪質な企業にはあきれました。酒、菓子から福祉施設の給食まで広がっていたとは驚くばかりです。国産米で需要はまかなえるのになぜ輸入するのか疑問に思うばかりです。



ききょうの里の給食を何度か試食しましたが、ご飯はおいしく、旬の食材を使い食べやすく工夫されていて調理職員の心がこもっているのが感じられました。施設を利用されている皆様も安心して召し上がっていただけたと思います。今後も安心、安全な食の提供を給食係の皆さんにお願いします。

介護事業では、介護職員の重労働と低賃金のため離職率の高さが社会問題になっています。こうした問題の是正が次回介護報酬の改定のひとつの焦点になると新聞に載っていました。ぜひ職員が安定した収入で長く勤務できるように実現してほしいです。私は、義母の介護を平成七年から約十年間経験しましたが、デイサービスや施設を利用できた時は本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいでした。家族介護では悩みやストレスを抱えている人が多いので介護を担う家族の負担を軽減する対策も政府にやっていただきたいと思います。

地域の皆様に信頼され、安心して家族や利用者に合ったサービスが受けられるように、日頃頑張っている職員の皆さんに感謝しています。より良いサービスを提供するためにも健康には十分気を付けてください。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうデイサービスセンター
沼田市在宅介護支援センターききょう

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町957-2
TEL 0278-23-8831

ききょうの里居宅介護支援事業所
ききょうヘルパーステーション
ききょうの里短期入所生活介護事業所

群馬県沼田市横塚町957-2
fax 0278-23-8832

ききょうの里（従来型）

ききょうの里では、9月14日に「敬老食事会」を行いました。今年も30名以上のご家族の参加があり、皆様のご協力のおかげでとても盛大に行うことができました。

ノンアルコールビールやジュースで乾杯した後、長寿のお祝いで喜寿1名、米寿2名、白寿2名の方々の紹介をし、職員手作りの色紙をプレゼントさせていただきました。残念ながら現在最高齢の100歳の女性の利用者様は当日入院されていたため、皆様と一緒にお祝いできませんでしたが、来年は一緒にお祝いできることを今から楽しみにしています。



また他の利用者様も、普段はご家族の皆様と一緒に食事をする機会がないため、ご家族の近況やお孫さんの事などいろいろなお話をされ楽しんでいました。利用者様もご家族と一緒に過ごす時間は特別なもののようで、いつも以上にたくさんの笑顔を見ることができました。

敬老食事会だけではなく、今後ご家族の皆様に参加していただき、利用者様とご家族の皆様が、ともに楽しみ喜んでもらえるようなご家族参加の行事などを計画し、実施していきたいと思ひます。

ユニット型（大地グループ）



9月25日（木）に外出行事としてぶどう狩りに出かけました。

天候にも恵まれ楽しい一時を過ごすことができました。皆さん良い笑顔でぶどうをほおぼり沢山召し上がって下さいました。カメラを向けると施設内では見られないような笑顔が見られ、とても良い写真を撮ることができました。

何人かの利用者様は、ご本人の体調を考慮して外出できませんでしたが、お土産のぶどうを召し上がっていただき、雰囲気だけでも味わっていただけたのではないかと思います。

来年は全員いけるように工夫して一緒に楽しめたらと思ひます。

今年度の残りの行事も職員一丸となって、利用者様の楽しい笑顔が見られるよう頑張っていると思ひます。



ユニット型（大空グループ）

いつの間にか朝・晩と冷え込む季節になりました。入居者様はもちろん、私たち職員も自己の体調管理に気をつけ、風邪などを引かないようにしていきたいと思ひます。

10月11日にりんご狩りに出かける予定でしたが、あいにくの天気のため、急きょ「りんごを味わう会」に変更になりました。沼田東中学校より、50名以上の生徒さんがボランティアとして参加下さり、若々しい元気な声が施設内に響いていました。また、ホールで中学生全員による合唱が行われ、童謡をはじめ、素敵な歌のプレゼントがあり、利用者様は歌声に聞き入っていました。その後、りんご園から頂いたもぎたてのりんごをおいしく頂きました。



10月20日には、天候にも恵まれたのでベイシアに買い物に行ってきました。「へそくりでも持って行くかな。」と笑いながら久々の外出を楽しまれました。帰ってきてからは「孫が帰ってきたときにあげるお菓子を買ってきた」と嬉しそうに話されたり「おいしいおかずを買えた」とニコニコしながら話され、楽しい一日を過ごしました。

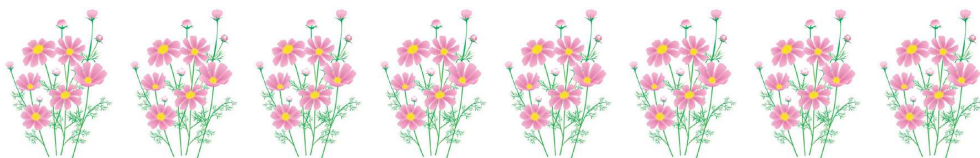
また、11月下旬の作品展に向けて鳥居作りや貼り絵などに取り組み、日々過ごしています。一日いちにちを「今日も楽しく過ごせてよかった」と思ってもらえるよう、皆でアイデアを出し合い、取り組んでいきたいと思ひます。



ききょうヘルパーステーション

特定事業所加算（Ⅱ）の体制を整えて利用者様の介護サービス向上に力を入れてきましたが、少しでも利用料金が安いほうが利用者様にとって利用しやすくなると考え、9月末日を以て廃止することに致しました。職員の配置はサービス提供責任者3名、訪問介護員23名でサービスを提供しています。

今までと同様、皆様に喜んでいただけるヘルパーステーションとして頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



ききょうデイサービスセンター

デイサービスでは、機能訓練に励み足腰を鍛え努力を積み重ねてきた成果を恒例の大運動会で発揮し、ケガも無く無事に終える事ができました。利用者様の中には、上下ジャージを着用し、本格的なイデタチで参加された方もいました。

プログラムとして、開会式、選手宣誓、ラジオ体操第一、宝探しゲーム、仮装競争、パン喰い競争、大抽選会（くじ引き）、閉会式の順番で行いました。今年はオリンピックにちなみ、開会式には職員手作りの聖火台に灯をともし、利用者様と一緒に盛り上がりながら良いスタートができ、各種目とも協力し合い楽しむ事ができました。



宝探しゲームは、繭玉に似た発泡スチロールで埋めつくされた中から宝物を探し出すゲームで、悪戦苦闘されながら宝物を見つけ出しては歓声をあげて喜ばれ、景品と交換されていました。仮装競争では、うさぎさん、赤ちゃん、ドンタコスの3種類を身に着けての競争で、照れ笑いしながら走ってゴールまで来られる姿が印象的でした。

パン喰い競争は毎年恒例となり、みなさんに参加して頂き、声援飛び交う中大変楽しまれていました。最後に金、銀、銅のメダルを胸に全員で記念撮影をしました。



看護職員より

最近本を読んでいますか？ 忙しい毎日を送っていると読書をする時間がないまま何年か過ぎてしまった・・・という人もいると思います。実際、時間に余裕がある人でも、ゆっくり読書を楽しんでいる人はそう多くないと思います。そこで、介護されている方も介護している方も“隙間時間”を作って読書タイムを楽しんでみてはどうでしょうか。毎日5分の隙間時間を作る事ができれば読書タイムが楽しめると思います。



読み聞かせという言葉を聴くと、親が子供に童話など読み聞かせする姿を思い浮かべますが、その逆にしても良いと思います。特に高齢者への読み聞かせには、絵本を利用すると不思議なことに興味を示す方が多いと聞きます。絵本は絵がキレイで、言葉遣いもユーモラスで、楽しい物語が多いからでしょうか？ 私は『お気に入りの絵本は大人になっても色あせない宝物』という言葉が好きです。年をとっても、子供の頃に聞いた昔話や童話は忘れないものです。誰でも知っている“桃太郎”の話などはおじいさん、おばあさんからお孫さんまで三世代一緒に楽しむ事ができるでしょう。認知症高齢者で困った行動が見られる方にも、絵本を読んであげると落ち着く方もいます。

読書は脳の活性化になり、認知症の進行予防にもつながります。忙しい毎日でも5分の隙間時間を作って、素敵な読書タイムを楽しむ事ができたらいいですね。

給食係

先日、「大地震に備えて」という研修に参加してきました。

みなさんの家庭では、非常食を用意していますか？群馬県危機管理室の方が講師となつて、群馬県の備蓄状況を教えてもらいました。県が備蓄している食糧のうち高齢者向けはかるうじて缶詰の粥がある程度で、「自分の身は自分で守る」という考えが基本なので、各家庭や各施設で備蓄をしてほしいとのことでした。備蓄する際、食器がなくても食べられるもの、水・ガスが止まっても食べられるものを選ぶこと、スプーン、箸も用意しておくようにと教えてもらいました。



テレビや新聞などで、冷凍食品などの農薬問題、汚染米問題、食品偽装など食の安全について取り上げられておりますが、今は大地震に限らず何が起るかわからない時代です。当給食施設では、今のところ冷凍食品や米など問題なく使用していますが、いつ施設で使用しているものが問題になるかわかりません。

また、食中毒が起きてしまったり、調理職員がインフルエンザなどの感染症にかかってしまうことも考えられます。そのためにも食の危機管理対策をしていく必要があります。食中毒や感染症などは衛生管理マニュアルや感染症マニュアルに沿って調理職員一丸となって防止することができますが、自然災害の発生は防止することができません。災害時でも利用者様の食の安全が守れるように、非常食の見直しを行い、災害時のライフラインの復旧や物資確保が整うまでの期間を3日間と想定した献立の準備をしていきたいと思ひます。

沼田市在宅介護支援センターききょう

10月20、21日に全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会に参加してきました。

最近、地域住民が立ち上がって高齢者の方に何か出来ないかと、様々な取り組みをしている市町村が多く、その中で最も目に止まったのが、札幌市で行われている「99カード」というものでした。

救急車を呼ぶ際にそのカードを見て、落ち着いて話しができるように工夫されています。救急車をいざ呼ぶとなると緊張するだろうし、一人暮らしで具合が悪いのに呼ぶとなれば大変なのでカードがあると便利かなと頷きました。

沼田市でも、地域住民のために沼田市独自の「99カード」が出来たらいいなあと思ひました



職員紹介

この職に就いて

私がききょうの里に就職して、あっという間に3年半が経ちました。改めて振り返ってみると本当に短く感じてあまり実感がわかないくらいです。

初めて配属になった部署は特養の従来型で、介護の学校を出ていなかった私は基本的なことも解らず、不安でいっぱいでした。それでも今日まで続けてこられたのは、周りの職員の協力と、何より利用者様の笑顔に支えられてきたからだと思います。最初の不安が嘘のように楽しくてこの仕事に就いて良かったなあと思っています。

だんだん仕事に慣れてくると、利用者様それぞれの特徴に合わせたケアとはどういうものなんだろうと考えたり、利用者様と関わる時にどうしたら一番喜んでもらえるかということを考えるようになりました。実践できたことも、できなかったこともあります。できたときに喜んでもらえるところが嬉しくなります。

今年の4月にはユニット型へ異動となり、従来型とはまた違った雰囲気戸惑いもありましたが、少人数の利用者様とより深く関わることで、その方に一番合ったケアについて一層考えるようになりました。利用者様はそれぞれ個性も豊かで、「こうしたら皆喜んでくれる」とまとめて考えることはできません。その中で私が学んだことは、利用者様本位のケアとは、利用者様が笑顔で過ごせる時間をより多く持つことなのではないかということです。実際には、笑顔になることだけが、利用者様本位のケアとは言えないかもしれませんが、まずはそこから取り組み、本当の利用者様本位のケアを探っていきたいと思っています。

また、10月1日に相談係に配属されたので、今までとは別の視点から利用者様本位を探っていきたいと思っているところです。不慣れなこともあり、利用者様や御家族の皆様にはご迷惑をおかけするとは思いますが、精一杯頑張りたいと思っていますのでよろしくお願いします。



相談員
内田真由美

かかし祭りでグランプリ受賞

今年も片品村の「花咲の湯」でおこなわれた「かかし祭り」に出品し、念願がかなない見事グランプリを受賞しました。

作品は、デイサービス利用者様と職員が一緒になってソフトバンクのCMで活躍している犬「カイくん」を作り上げました。

しばらくは施設内に展示してありますので来所の際は是非ご覧下さい。

(11月29日まで展示予定)



お知らせ

ききょうの里合同作品展を開催致します。皆様のお越しをお待ちしております。

期間

11月23日～11月29日

場所

ききょうの里多目的室
パブリックスペース

今後の予定

☆デイサービス

- 11月 秋のドライブ (上旬)
作品展 (下旬)
- 12月 餅つき忘年会 (上旬)
クリスマス誕生会 (中旬)
- 1月 新年会 (中旬)



沼田市老人クラブ連合会の皆様から「市の花ききょう普及事業」としてききょうの苗をたくさんいただきました。

来年はきっと多くの花が咲き、まさにききょうの里になってくれると思います。ありがとうございました。



☆ききょうの里

- 11月 茶話会 (中旬)
- 12月 餅つき大会 (上旬)
そば打ち・クリスマス会 (予定)
- 1月 新年会 (上旬)

編集後記

朝晩めっきりと寒くなり、秋も深まってきました。山々の紅葉もだんだんと平地におりてきてキレイな時季をむかえています。



月日が経つのは早いもので今年もあっという間に二ヶ月あまりとなりました。

年の初めに立てた今年の計画もそのまままで終わってしまいそうです。

「あと二ヶ月しか・・・」、いや「まだ二ヶ月も・・・」と思い直して少しでも実行したいものです。

☆ユニット型

- 11月 誕生会 (中旬)
- 12月 餅つき大会 (上旬)
そば打ち・クリスマス会 (予定)
- 1月 新年会 (上旬)

